

## 学校教育自己診断の結果と分析 [令和6年12月実施分]

○回答率は保護者 128 名 46% (昨年度 69%)、児童生徒 83 名 30% (昨年度 69%)、教職員 100% (昨年度 88%) 今年度から、フォーム作成ツールを活用して回答をお願いした。回答のお願いの呼びかけを複数回行ったが、児童生徒・保護者の回答率は上がらなかった。

### 【児童生徒】

「運動会やなんば祭の準備は楽しいですか」「先生は自分が頑張ったことを認めてくれますか」等の問いにおいて、肯定的回答率8割以上となっており、学校生活の満足感がうかがえる。「大人になったときの話や勉強はありますか」「命の大切さの学習をしたことがありますか」において「わからない」の回答率が3割を超えている。キャリア教育や人権教育の内容をより充実させていく必要がある。

### 【保護者】

「学習の内容・学校生活の様子を懇談や連絡帳などで知ることができる」「学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」「個別の教育支援計画・個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している」等、22 問中 13 問が肯定的回答率9割以上であった。進路の指導や防災計画の充実については、「わからない」の回答率が3割近くなっているため、取組みの充実や情報発信の在り方を検討する必要がある。

### 【教職員】

肯定的回答率80%以上が41問中38問と好結果であり、学校の教育活動について、教職員間で日常的に連携しながら、検討・改善していることがうかがえる。校務分担に関する内容の肯定的回答率が75%であったので、より意欲を高める環境づくりを検討していく。